

令和6年度第9回MORC理事会議事録

日時：令和6年9月1日 19:00～

場所：オンライン

参加者：赤石、鈴木、乾、佐藤敬、田村、斎藤、石塚、遠藤、岩間、木村、飯島、佐藤哲哉
(記) (敬称略)

<議事>

1. 理事の登記
 - ・木村さんにて8/8に理事の登記実施済み、9/2登記完了予定。(乾理事)
2. 安全講習会(11月上旬)
 - ・保安庁からまだ連絡なし、今後の連絡を待つ。(斎藤理事)
3. 新規定登録について
 - ・黄川田氏より「エスカルゴ」(女川町小乗浜漁港係留)の艇登録申請が来ている。(乾理事)
 - ・全会一致で承認
4. 東泊地申請進捗状況
 - ・セヶ浜漁協訪問して8/28に承諾書に印鑑押印受領済み。(赤石理事長)
 - ・これ以上東泊地に増やさないと漁協に言われたので今後留意する。(木村さん)
 - ・黄川田理事にて仙台塩釜港湾事務所に提出実施する予定。泊地担当斎藤理事が同行する。(木村さん)
5. C 棧橋の水道設備工事について
 - ・見積もり金額は91.2万円(内容は道路を工事して水道管を引き直すもの)。(乾理事)
 - ・MORCで工事を行いMORCの設備とするか、継続してセイルヨットから借用するか議論したい。
 - ・金額は安くないが小浜の水道として独立が好ましいので実施してはどうか。(木村さん)
 - ・除名含めて弁護士に相談してはどうか。(岩間理事)
 - 一除名と水道は切り離して考えたい。(乾理事)
 - ・セヶ浜町水道局から連絡があり、道路の下を水道管が通っているので料金を払うように連絡あった、180円(乾理事)
 - 一支払い済(木村さん)
 - ・第三者を経由して水道を使うのは普通ではないと水道局から指摘あった。(乾理事)
 - ・棧橋会計から拋出可能、多数決を取りたい。(乾理事)
 - ・問題と対応内容がいまいち不明確だ、誰でもわかるように文書にまとめてほしい(佐藤哲哉)
 - ・棧橋会計とは何か？余裕なのか？などについてもう少し議論した方が良いのではないか(岩間理事)
 - ・セイルヨットからの請求が正当なものか弁護士に相談すべきではないか。(岩間理事)
 - 一そのようにする。工事が速やかにできるように弁護士確認を進める。(赤石理事長)
 - ・個別な対応は大変なので弁護士に委嘱はできないか。(遠藤理事)
 - 一費用的に不可能。(赤石理事長)
 - ・問題と対処を文書で残すべきだ。(佐藤理事)
 - 一本日の議事録に記載することにしたい(乾理事)
 - 注)本議事録の末尾に記載した(佐藤哲哉)
 - ・工事は先行させて、並行して弁護士に相談することにしたい(赤石理事長)
6. セイルヨットからの通告
 - ・セイルヨットは除名無効を通告してきた。9月中に先方より届く文書をみて対応を検討する(乾理事)

7. 電源ポスト修理報告

- ・ C 桟橋の壊れた電源ポストの修理を完了した（佐藤敬）
- ・ A 桟橋にも故障しているポストがあり漏電が心配なので今後対処して欲しい（鈴木理事）

8. 親子ヨット教室の費用

- ・ ファクトリーマリン 館石さんと相談した（乾理事）
 - 今年度の親子ヨット教室予算としてファクトリーマリンから 20 万円の見積もりが出された
 - 今年の親子ヨット教室は 2 回中止になっており、既に 8/24 に終了した
 - 今年度の予算 10 万円（未実行）と来年度予算 10 万円で合計 20 万円を来年度拠出できると考える
- ・ 今年度の予算を来年度に持ち越して実行できるのか（佐藤哲哉）
 - 予算は単年度が原則なので今年度 10 万円支払いとすべきだ（木村さん）
- ・ 親子ヨット教室の事業について、目的、意義、体制などしっかり見直すべきだ（鈴木理事）
- ・ 経緯としては、過去に佐藤良吉さんが七ヶ浜町の教育委員会にもちかけてやることになったが、実現しなかった。（木村さん）
- ・ その後ファクトリーマリン 館石さんが引き継いで実施している状況。（木村さん）
- ・ MORC の事業として予算を計上している（10 万円/年）。（木村さん）
- ・ 今後 MORC 事業としてではなく、協賛金 10 万円として協力することにしたい。金額は毎年度理事会で決定することとしたい。（赤石理事長）
 - 主催は MORC ではないということか（岩間理事）
 - そうだ（赤石理事長）
 - ファクトリーマリン 館石さんは MORC 主催しかありえないという認識（乾理事）
 - それでは年度始めに決めた予算 10 万円内でやることになる、予算は無限ではないので決まった範囲でしか実行できない（赤石理事長）
 - 協賛金というかたちが実情に合う（木村さん）
 - 乾さんから親子ヨット教室）遠藤会長に予算実情を説明する

9. 初めてさんのヨット教室報告（赤石理事長）

- ・ ホームページと FB で広報した結果、これまでに 2 名に対して 2 回の実技講習を行った
- ・ 1 回目はデキャンタ三浦さん、2 回目は鈴木副理事長に支援してもらった
- ・ この 2 名には今後も講習を続ける
- ・ 募集について河北新報のメッセコーナー、X (SNS) に公募したがこれまで応募なし
- ・ 今後も講習を広めて会員増員につなげていきたい
- ・ 予算は不要か（鈴木理事）
 - 今年度は無償で実施し、必要あれば来年度に予算申請する（赤石理事長）

10. MORC HP 改変進捗

- ・ 進捗なし、次回までに進める(佐藤哲哉)

11. 小浜大掃除について

- ・ 今年は夏に実施したが気温が高く熱中症など心配があるため、来年度から春か秋に実施してはどうか（乾理事）
- ・ 来年度は春秋など涼しい時期に企画するようにする（佐藤敬理事）

12. 納会会場予約

- ・ 今年 12/14 に予定している。（乾理事）
- ・ 次回理事会までに会場を予約したい。（乾理事）
 - 会員担当理事の遠藤理事に準備（会場を検討して予約）をお願いしたい、昨年は多賀城キャッスルで実施した（乾理事）
 - 多賀城キャッスルの方向で準備する（遠藤理事）

13. C 倉庫に空きが出たので公募を進める（乾）

14. その他

1) 親子ヨットとセーリングツアーなどで利用する椅子とテントの数量を増やしたい（石塚理事）

・見積もりをとって、予算として計上する（佐藤敬理事）

2) テンダ-の南京錠が劣化しているので新しいものにする（石塚理事）

3) Y23 日本 GP キャンセルの返金について（乾理事）

・台風により日程変更になったためキャンセルのチームが出ているので金したい。

MORC に振り込まれた費用をファクトリーマリンに振り込んで欲しいと相談があった。（乾理事）

・MORC が主催なので処理は MORC で実施することになる。（赤石理事長）

・返金手数料として 2,000 円差し引くことにする。（鈴木理事）

4) Y 棧橋の課金については今年度からの認識だが、請求書は各艇に送るのか。（田村理事）

・各艇に送付する、準備中。（木村さん）

以上

次回理事会 2024 年 10 月 6 日（日） 19:00～ オンライン開催

注) C 棧橋水道の課題と対応策について（乾理事）

1. 背景・経緯

・現在 C 棧橋の水道はセイルヨットより借りている。

・水道の元栓とポンプなどセイルヨットの設備がセイルヨットの敷地にあり、ポンプから道路の地下を経て水道管を C 棧橋に引いている。

・MORC は元栓とポンプをセイルヨットから借用しており、その利用代金として 2,000 円/月を支払っている。

・セイルヨットはこれを 2025 年 1 月から 3,000 円/月に値上げすると MORC に通告してきた。受け入れない場合は水道を止めると言っている。

2. 対応策（案）

・C 棧橋として新たに独自の水道を引き、セイルヨットからの借用を止めることとしたい。

・工事費用の見積もりを取得したところ 91.2 万円（道路の地下に水道管を埋める方法で C 棧橋に水道を引く内容）。

・一時的に高額な費用がかかるが、今後の果てしない値上げの恐れ、またポンプ故障時の修理費用請求などトータル費用を勘案すれば今後の安心のため仕方のない出費と考える。

対応策について理事会に諮る。